月形町　校務DX計画

文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本町において、次に掲げる事項をに検討する。

１．校務系・学習系ネットワークの統合

教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、ゼロトラス

トの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、学校・町情報管理担当・関係業者と連携を図りながら、ロケーションフリーで校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境の整備（教職員用端末の一台化を含む）に向けた調査研究を着実に進める。

２．校務支援システムのクラウド化

現在、校務支援システムについては、オンプレミス型（各校のサーバー上）で運用しており、学校現場において教務・保健・学籍・成績管理など様々な校務で利用している。

現在利用している校務支援システムは「C4th」であり、令和７年度からクラウド対応可能となるため、先行する他自治体の動向を参考にしながら、検討していく。

 ３．次世代の校務デジタル化に向けた各種ツールの活用

　　　現在、中学校問題データベース、児童生徒の出欠や緊急時の保護者への連絡システムなどを導入しているが、今後は、上記２と合わせてデジタルドリルや生成AIなど次世代の校務デジタル化に向けた各種ツールの導入を検討していく。

また、現状においては、教職員のICT活用能力に個人差があり、上手く活用できてい ないケースも散見されることから、全ての教職員が効果的に活用できるよう、教職員一人一人のICT活用能力に応じた個別指導やICT研修の実施回数を増やすなどの対応についても、学校と連携を図りながら、合わせて検討する。

４．押印制度の見直し

　　各学校と教育委員会のやりとりや保護者への通知等で押印の必要な書類が当町例規等に定められているが、今後メールやFAX、保護者連絡システムの活用を推進し、ペーパーレス化を図っていくため、押印の廃止及び見直しをしていく。